



謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、コロナ禍にあって社会・経済活動が徐々に回復する中、リモートと対面、それぞれの強みを生かした「新たな生活様式」を取り入れ、制約はあるものの活動を再開することができました。多くの皆様に広島県労福協の活動をお支えいただきましたこと心より感謝申し上げます。

さて、長期化するコロナ禍が社会・経済に与えた影響は甚大であり、社会的立場の弱い人ほど深刻な打撃を受けています。とりわけ日本社会のセーフティーネットの脆弱性が浮き彫りとなり、格差や貧困、過度な自己責任論が漂い、いわれのない誹謗・中傷など「助けて」と言えない人が増え、社会の分断が拡大しつつあります。さらに甚大な被害を及ぼす自然災害が頻発し、平和を脅かす国際情勢の緊迫度が高まるとともに世界経済の不確実性が高まり、エネルギーや資源の高騰など国民生活に深刻な影を落としています。

こうした国内外とも先行き不透明で将来不安が尽きない状況にあるからこそ、雇用と生活を守り高め、人と人のつながりを大切にし、「支え

合い」・「助け合い」の輪を社会に根付かせるため、労福協運動、労働運動の果たすべき役割はいっそう大きくなっていると認識しています。

広島県労福協は、創業の精神である「福祉はひとつ」の理念のもと「**つながり・ひろがり・深堀り**」を念頭におき、「平和で安心して暮らせる持続可能な社会の実現」に向けて労福協運動を一步一步、前に進めてまいります。

そのため、事業団体設立の初心を忘れず、労働組合とともに歴史を重ねてきた労働金庫やこくみん共済coop、労働会館など福祉事業団体が「ともに運動する主体」として関係を強化し、県内の働く人が幸せと豊かさが実感できる労働者自主福祉運動を職場・地域で力強く進めてまいります。また、地域における生活相談をはじめ「勤労者の拠り所」としての機能を発揮するため、行政や志を同じくする多くの団体とも連携を深めながら「共助」の輪を広げていくことに努めてまいります。

本年も広島県労福協に対しますご理解とご支援をお願いするとともに、皆さまにとって素晴らしい一年となることを祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。

年頭のあいさつ



労働者福祉中央協議会

会長 芳野 友子

新年明けましておめでとうございます。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大による経済・社会・国民生活への影響は現在も続いています。日本のセーフティネットの脆弱性が露呈する中、公的支援が行われているものの、長引くコロナ禍においては、一時的な支援から、継続した支援への強化が必要です。中央労福協も「ろうふくエール基金」を継続し、生活に困難を抱えている人たちの支援などに役立てています。これまで寄付をいただいた皆様へ改めて感謝申し上げます。

さて、世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻による平和問題や、物価上昇、気候危機など、先行き不透明な状況に置かれています。平和や地球環境について、一人ひとりが意識を変え何ができるかを考え、小さなことでも行動に移していくことが必要です。「誰ひとり取り残さない」包摂的で持続可能な社会を実現

するために、取り組みを進めていきましょう。

中央労福協は現在、「第3期奨学金制度改善・学費負担軽減」運動に取り組んでいます。給付型奨学金の中間層への拡大と、返済困難者への支援が喫緊の課題です。政府は授業料を後払いにする「出世払い方式」の検討を進めていますが、極めて収入額が低い場合でも返済を開始させるような制度設計となっています。奨学金制度のさらなる改善にむけて、給付型奨学金創設を実現したときのように、みんなで大きなねりを作り上げ取り組んでいくことが必要です。引き続きのご協力をお願いいたします。

私たちは今、目まぐるしく状況が変化する社会の中で、様々な課題への対応に迫られています。これまでの運動で培ってきた経験や、助け合い、支えあいの精神を糧に、時代に即した運動スタイルを取り入れてポストコロナ社会を見据えた運動に取り組んでいかなければなりません。「2030年ビジョン」の実現にむけて、労福協、労働団体、福祉事業団体がこれまで以上に連携を深め、一丸となって取り組みを進めていきましょう。



広島県知事

湯崎 英彦

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、清々しく新しい年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、本県では、「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」に掲げるそれぞれのライフスタイルの実現を目指し、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症への対応、物価高騰・円安等への対応、社会的基盤の強化及びウィズ・アフターコロナにおける経済の発展的回復に向けたローカル・トランスフォー

メーションの実践に注力するとともに、広島サミットの開催とレガシーの継承・発展に向けて取り組んでまいります。

また、デジタルトランスフォーメーションの推進やひろしまブランドの価値向上、生涯にわたる人材育成を施策・取組を貫く視点として、それぞれの取組を加速してまいります。

皆様におかれましては、今後とも、本県行政への御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年の門出に当たり、広島県労働者福祉協議会のますますの御発展、並びに、会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念しまして、新年の御挨拶といたします。



広島県市長会(広島市長)

会 長 松 井 一 實

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、平素より勤労者の生活と福祉の向上に御尽力されており、深く敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の長期化やウクライナ情勢、急激な円安の進行等により、市民生活や経済活動に多大なる影響が広がっており、感染症や物価高騰への対策を始め、中小企業や生活困窮者への支援など、直面する課題に対し、きめ細やかな対応が求められています。

我々基礎自治体といたしましても、国や県と連携を図りながら、新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動を両立させながら、直面する諸課題への対応に積極的に取り組んでまいります。

さらには、人口減少・少子高齢化やデジタル技術の進展、価値観の多様化といった社会経済環境の変容に的確に対応しつつ、持続可能で活力ある地域社会の実現に努めてまいりたいと考えておりますので、皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝と御多幸を心より祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。



広島県町村会(坂町長)

会 長 吉 田 隆 行

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より労働者福祉の向上にご尽力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国では、ウィズコロナに向け感染拡大防止と社会経済活動との両立を実現する新たな段階へ移行する取り組みが進められているところでございます。

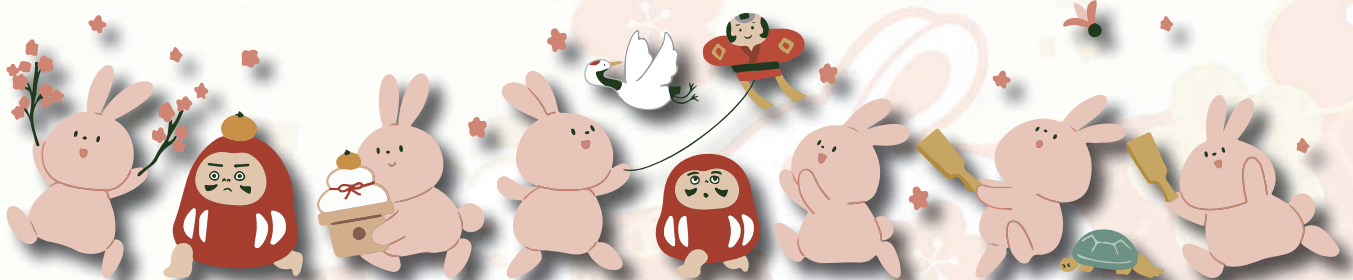
一方で、長期間にわたるコロナ禍と、急激な円安やウクライナ情勢によるエネルギー価格・物価高騰等が相まって、国民生活や社会経済活動に深刻な影響が生じており、特に社

会的弱者の貧困や格差の拡大が大きな問題となっております。

さらに、地方においては少子高齢化や人口減少に拍車がかかるなど、従来からの構造的な課題も一層深刻化しております。

我々、地方行政を預かる者としましては、関係機関等と連携を図りながら、誰一人取り残すことなく、住み慣れた地域で、共に支え合い、安心して暮らせる持続可能な社会の実現を目指して全力を挙げて取り組んでまいり所存でございますので、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この新しい年が皆様にとりまして輝かしい年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。





連合広島

会長 大野 真人

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、連合広島の諸活動に対しご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年を振り返れば、日本の経済は、3年目となるコロナ禍の底からは一定の回復はしましたが、コロナ対策に加え、原材料価格の高騰や円安という三重苦に晒された1年となりました。

広島県においても、全体的には景気は緩やかに持ち直していますが、産業によっては経営の厳しさは継続しており、働く者・生活者は、物価の高騰に懐を痛めています。とりわ

け、弱い立場・不安定な立場にある人ほど深刻な影響を被っており、セーフティネットの強化が喫緊の課題となっています。また、人口減少、少子高齢化が見通されている将来に向けて、包摂的で持続可能な地域社会の構築が求められています。

こうした状況のなか、私たち連合広島は、すべての働く仲間・生活者に寄り添い、必ずそばにいる存在として、**力を発揮**しなければなりません。

誰もが将来にわたり、安全で安心に暮らせるように、広島県労福協の皆様と連携を図りながら、組合員と地域社会からの期待に応えていく所存です。

2023年が、輝かしい1年となりますように、共に歩みを進めて行きましょう。



中国労働金庫 広島県営業本部

本部長 善積 昭之

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、広島県労福協会員の皆様には、中国労働金庫の事業推進に対しまして、格別なご支援・協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2022年度も残り3か月となりましたが、事業計画の達成は大変厳しい状況で推移しております。しかしながら、広島県労福協会員の皆様の力強いサポートのもと、職員一同、目標必達に向けて懸命に取り組んでいるところでございます。本当にありがとうございます。

迎える2023年も、第8波が拡がりつつある厳しい環境が予想されますが、役職員をはじめ関係するすべての仲間と一丸となって、一步一步前進してまいりたいと考えております。県労福協会員の皆様におかれましても、引き続きの力強いご支援・協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

そして、中国ろうきんは10月1日に**20周年**を迎えます。『新たな中国ろうきんの展望』に向けて邁進するための記念式典や各営業店を

中心に20周年イベントを開催する計画としており、統合20周年をみなさまと共に祝いたいと思います。

結びに、新年が広島県労福協会員の皆さまとご家族にとりまして、輝かしく素晴らしい年になりますことをご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。





こくみん共済 coop 広島推進本部

本部長 寺戸 裕司

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、よき新春を迎えられたことと謹んでお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による影響は、依然として社会や経済に大きな不安をもたらし、私たちの生活にも影響を及ぼしています。こうした社会情勢の中、人と人とのつながりを大切にする労働者自主福祉の事業と運動は増々重要になっていると考えております。

2023年は、こくみん共済 coop 中期経営政策2022-25 ~**変革と創造**~のもと、お役立ち発想と共創活動により、共済を通じた人と人とのたすけあいの輪をむすび、組合員に寄り添う活動を展開していきます。特に、広島推進本部では、「組合員を大切にする」を合言葉に、一丸となって事業と運動をすすめてまいります。

本年も一層のご支援とご協力をお願いいたしますとともに、新年が皆さまにとりまして輝かしい年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人
広島県労働会館「ワークピア広島」
「みやび」

理事長 山崎 幸治

新年明けましておめでとうございます。

昨年、広島労働会館は、広島県労福協による「勤労者福祉施設あり方検討委員会《答申》」に基づき、今後も**持続可能な会館事業**の運営を確立するため、関係者の皆様のご尽力をいただき福山労働会館との組織統合（合併）を実現し、新たに広島県労働会館として船出しました。

3年以上続くコロナ禍、昨年のロシアによるウクライナ侵攻の影響により大変厳しい経済環境下での事業運営を強いられました。そういった中、当会館に対しまして格別のご支援とご協力をいただいたことで、業績も少しずつではありますが回復してまいりました。厚くお礼申し上げます。

これからも外部環境の先行き不透明感の事業運営に与える影響は大変厳しいものがありますが、引き続き「勤労者の集う場」としての役割を十分発揮し、勤労者福祉の向上に努めてまいりますので、倍旧のご愛顧をお願い申し上げます。

2023年が、私どもと皆さまにとりまして、「卯年」にちなみ飛躍する素晴らしい年になることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





広島県生活協同組合連合会

会長理事 岡村 信秀

時代が大きく変わろうとしている現段階 改めて基本に立ちかえる

国際秩序は大きく変わろうとしています。気候危機、コロナ危機、ウクライナ危機、覇権争いなどにより人道・生命の危機が迫っています。「歴史は30年サイクルで繰り返される」といいますが、現段階は近年の中で最も危機的な状況にあると考えます。

生協の歴史を振り返り、将来を展望するとき、“協同と事業のバランス”をしっかりと良好に保たないと組織や事業はもろいということがわかります。ちなみに日本の協同組合の原型をつくったといわれている二宮尊徳が最も大切にしてきたことは“道徳と経済のバランス”（道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である＝“道徳経済一元論”）ですが、危機的な状況にある現段階、改めて尊徳の言葉を噛みしめたいと思います。

新年を迎えるにあたり、当連合会は、“協同と事業のバランス”を点検しながら、歴史的な危機に向き合いたいと決意します。

地区会長

年頭のあいさつ



大竹・廿日市地区労福協

会長 迎 尚樹

新年あけましておめでとうございます。

コロナ禍により、対面における接点を敬遠される状況において、人と人とを繋ぐ役割を担う労福協の存在は重要であると考えています。「つながる」ことを意識して、福祉の向上を目指した活動を推進していきます。

本年も皆様のご協力を宜しくお願い致します。



広島西地区労福協

会長 谷口 英男

明けましておめでとうございます。

広島西地区労福協では、「繋がり、寄り添い、支えあう」をモットーに、会員の皆様と事業団体とのコミュニケーションを活性化させ、共助の輪を広められるよう努めて行きたいと思っています。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。



広島中央地区労福協

会長 後藤 孝秀

新年あけましておめでとうございます。10月の役員会で私鉄から会長に就任しました。

新型コロナウイルスは2019年12月初旬に中国武漢市で第1例目の感染者が報告されてから約3年が経過した今もお終息の目途が立っておらず、依然先行き不透明な状況が続いています。こうした状況の中、生活様式に変化をもたらされ、労福協運動にも様々な制約がかかり、十分な取り組みが出来ませんでした。しかし、今後は変化する生活様式にも対応できる活動のあり方が求められていると考えます。

引き続き、福祉事業団体と連携し、どのような状況であっても安心・共生の福祉社会の実現を目指して参ります。本年も皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。



広島東地区労福協

会長 下西 智之

新年あけましておめでとうございます。

昨年コロナ禍での活動となりましたが、『ふれあい朝市』以外予定した行事は、感染防止対策を講じ全て行うことができませんでした。特に広島東地区労福協設立50周年を記念し、講演会を企画し多数の会員の方に参加いただき盛大に開催できました。これもひとえに会員・組合員の皆様の当地区活動に対するご理解と協力のおかげと心より感謝申し上げます。

これからも、労福協活動を通して地域活動および福祉事業団体推進に取り組んでまいりたいと思っております。

本年も皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



呉地区労福協

会 長 津川 信次

新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止策を取りながら、何とか行事やセミナー等を実施したところであります。しかし、第8波がいつどうなるのかひやひやしている状況ではないでしょうか。本年も同じような状況の中での活動にならざるを得ないので役員会でしっかり議論し、会員の皆様に理解してもらえる労働者福祉の推進を進めてまいります。本年もどうぞよろしく申し上げます。



三原地区労福協

会 長 橋詰 文貴

～仲間の力をひとつにして、ともに運動する！～

新年明けましておめでとうございます。

今年も地区の構成組織・福祉事業団体メンバーと共に力をひとつにして、地域との繋がりをはじめ、支え合い・助け合いといった活動としていけるよう、『福祉はひとつ』を合言葉に社会・福祉運動の展開に努めます。

また、福祉事業団体と労働組合との「ともに運動する」関係をより強めた活動となることにも注力した地区運営に努めながら、共助の輪が広がるよう尽力して参ります。

引き続き皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



福山地区労福協

会 長 木村 英明

新年あけましておめでとうございます。

これまでコロナ禍により、私たちの生活に大きな影響を受け続けてきましたが、少しずつ、Withコロナの新たな段階へ移行にむけた活動が始まりつつあります。

福山地区労福協は、取り巻く環境に柔軟に対応しながら、引き続き、福祉団体と連携を図り、勤労者の福祉の充実・発展に向けた取り組みを推進してまいります。

本年も皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



備北地区労福協

会 長 柳 英邦

新年あけましておめでとうございます。新型コロナ感染症は3年目に入りましたが周りでの感染者も急増し不安も多いかと思います。地区労福協は共助としての「中国労働金庫」「共済COOP」と一緒にいざという時の支えになれるよう取り組みを行います。今年もよろしくおねがいします。



賀茂豊田地区労福協

会 長 田部 洋治

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの活動が制限される中、労福協活動にご支援、ご協力頂いた事、深く感謝申し上げます。

コロナの収束はまだ見通せませんが、社会経済活動は再開され「非日常」が「日常」になりつつある状況です。こういった時だからこそ、労福協活動を通じて、人とのつながり、助け合いの精神で、支えあえる社会の輪をみなさまと共に更に広げ、労働者福祉の向上に努めていく必要がある思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



尾道地区労福協

会 長 神尾 雅志

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に加え、ロシアによるウクライナ侵攻や物価高など私たち勤労者を取り巻く状況が、めまぐるしく変わる1年でした。

尾道地区労福協は、福祉事業団体と連携し、地域での活動を通じて労働者福祉の向上に一層取り組んでいきたいと考えています。

本年も皆様方の引き続いてのご支援、ご協力をお願いいたします。



府中地区労福協

会 長 西林 弘泰

あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら地区の活動を多く再開しました。今年もコロナ禍が引き続きことが予想されますが、府中地区労福協として勤労者福祉の充実に向けた活動を展開してまいります。本年もよろしく申し上げます。



HIROSHIMA 労福協 2023年お年玉クイズ

クイズの正解者の中から、抽選で20名様に、
3,000円のギフト券を進呈！

問題 下記の①～⑤の問題文の○に入る言葉は？

- ①広島県労福協は、「○○○○・○○○○・○○○」を念頭に、「平和で安心して暮らせる持続可能な社会の実現」に向けて労福協運動を前に進めてまいります。
- ②中国ろうきんは10月1日に「○○○」を迎えます。
- ③2023年は、こくみん共済 coop 中期経営政策2022-25～「○○○○○」～のもと、組合員に寄り添う活動を展開していきます。
- ④連合広島は、すべての働く仲間・生活者に寄り添い、必ずそばにいる存在として、「○○○○」しなければなりません。
- ⑤広島労働会館は、今後も「○○○○○○○○○○」の運営を確立するため、福山労働会館との組織統合（合併）を実現し、新たに広島県労働会館として船出しました。

ヒント：それぞれ代表者の挨拶文の中にあります。

●クイズの応募は、「**広島県労福協**」のホームページから

URLは、<https://hiroshima-rofuku.net/>

広島県労福協

検索

締め切りは、**2023年2月10日(金)**。

当選者は、「広島県労福協」のホームページおよび機関紙4月号にて掲載し、賞品を発送します。



H A P P Y N E W Y E A R